

第5学年 国語 年間指導計画 (シラバス)

国語の内容・目標

(1) 話すこと・聞くことでは

目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。

(2) 書くことでは

目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。

(3) 読むことでは

目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学習の計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	1. 表現のくふうを考えながら声に出して読もう ・ だいじょうぶだいじょうぶ ・ (詩) 水のこころ 山頂から 言葉の種類に気をつけよう 言葉の広場 ・ 作文「 詩を書こう 」 ・ 書写 はじめに	・ 物語や詩の表現の工夫を味わい、情景や人物の心情を想像しながら、音読することができる。 ・ 名詞・動詞・形容詞・形容動詞の働きの違いを理解し、文の中で適切に使うことができる。 ・ 毛筆のしせい・筆の持ち方を確認する。	読む 7 言語 2 書く 3 毛 1
5	2. 自分の考えを伝えるスピーチをしよう ・ 伝え合おう、五年生でがんばりたいこと 質問の手紙を書こう 国語辞典を活用しよう 言葉の広場 ・ 作文「 5年生でがんばりたいこと」 ・ 書写 組み立て方(上下の部分)「笛」	・ 自分の考えや意図が聞き手によく伝わるように、事実と感想、意見とを区別し、理由や具体例を挙げて、話の組み立てを工夫しながら話すことができる。 ・ 聞きたい相手や聞きたいことをはっきりさせて整理し、手紙の形式に沿い、目的や意図に応じて、質問の手紙を書くことができる。 ・ 国語辞典の仕組みとその使い方を理解し、進んで活用することができる。 ・ 上下の組み立て方を理解する。	話聞 4 書く 5 言語 2 書く 3 毛 4
6	3. 文章の仕組みを考えながら読もう ・ 動物の体 会話をはずませよう 漢字の由来に関心を持とう 言葉の広場	・ 文章の仕組みをとらえ、書かれていることを的確に読み取りながら、要旨をとらえることができる。 ・ 相手の話の意図を考えながら聞き、内容が深まるような会話をすることができる。 ・ 象形・指事・会意・形声の漢字の成り立ちを理解し、漢字の由来に関心を持つことがで	読む 8 話聞 2 言語 2

	<ul style="list-style-type: none"> ・作文「運動会」 ・書写 筆順と字形「馬車」 	<ul style="list-style-type: none"> きる。 ・筆順と画の間隔を理解する。 	<p>書く 3 毛4</p>
7	<p>4. 強く心に残ったことを考えながら読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちかい 相手や目的を考えて ・作文「夏休みにがんばりたいこと」 ・書写 既習の筆使い 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれている出来事や人物の心情、考えの変容に注意して物語の流れを読み取り、最も強く心に残ったことを自分の言葉で書き表すことができる。 ・相手や目的を考えて、伝えるために必要な事柄を整理して書くことができる。 	<p>読む 6 書く 3</p>
9	<p>5. さまざまな角度から考えて書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えをまとめて書こう 方言と共通語に関心を持とう 言葉の広場 ・書写 筆使いと字形「すばる」 漢字とかなの大きさ「花さく町」 ・意見文「意見発表会用」 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の筆使いについて確認する。 ・いろいろな通信手段のよさや問題点について自分の考えを整理し、筋道を立てて分かりやすく文章に書くことができる。 ・方言と共通語との違いを理解し、必要に応じてそれらを使い分けることができる。 ・平仮名の「結び」「折れ」「折り返し」の筆使いを理解する。 ・仮名は漢字より小さめに書いてつり合いをとることを理解する。 	<p>書く 3 毛2</p> <p>話聞 10</p> <p>言語 2 毛4</p>
10	<p>6. 人間の生き方をえがいた作品を読もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マザー・テレサ 一まいの地図から ・書写 漢字とかなの大きさ「花さく町」 行の整え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝記から人物（テレサ）の生き方や考え方を読み取ることができるとともに、それに対する自分の考えをまとめて紹介し合うことができる。 ・絵地図をもとに、場面の様子、人物の会話や気持ちなどを想像し、表現の効果などを確かめたり工夫したりしながら、物語を書くことができる。 ・「花さく町」の行の中心を理解する。 ・箇条書きについて理解する。 	<p>書く 6</p> <p>読む 10 書く 4 毛2</p>
11	<p>7. いろいろな環境問題について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林のおくりもの 敬語を適切に使おう ・書写 組み立て方（にょう）「進め」 	<ul style="list-style-type: none"> ・題名や述べ方に注意して、筆者の考え（要旨）を読み取り、環境問題について関心を持つことができる。 ・知りたいと思ったことをいろいろな資料で調べ、ブックガイドにまとめることができる。 ・敬語の種類や役割を知り、その適切な使い方を理解して、それを意識して使うことに慣れる。 ・にょうの組み立て方を理解する。 	<p>読む 11</p> <p>言語 2 毛3</p>
12	<p>8. 話の組み立てをくふうして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースを伝え合おう 動詞にそえて使う言葉に目を向けよう 言葉の広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・取材したことや考えたことが聞き手に明確に伝わるように、話の組み立てを工夫して話したり、相手（話し手）の話の内容を正確にすく文章に書くことができる。 ・補助動詞などの語句の構成に関心を持ち、文末表現などの語句の使い方に生かそうとす 	<p>書く 9 言語 2</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・書写 書きぞめの練習をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> る。 ・長半紙の使い方について理解する。 	毛 2
1	<p>9 . 身近な生活について討論しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタント食品とわたしたちの生活 <p>短歌と俳句を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由作文 ・書写 書きぞめをしよう「心に太陽」 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文(インスタント食品と私たちの生活)を活用し、身近な生活の中の問題について理由や根拠を明確にして討論することができる。 ・短歌や俳句の表現方式を理解し、季節感を表した表現内容やリズムを読み味わうことができる。 	話聞 9 読む 3 書く 3 毛 4
2	<p>1 0 . 表現のおもしろさを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文の多い料理店 <p>熟語の意味を考えよう 言葉の広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写 まとめ「新しい星」 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の変化について表現の工夫を味わいながら物語を読み、心にいちばん強く残ったことをみんなに紹介することができる。 ・漢字二字の熟語について、その構成から意味を推測することができるを理解し、熟語の意味を考えることができる。 ・5年で学習したことをまとめる。 	読む 1 1 言語 2 毛 2
3	<p>1 1 . 題材や表現に注意して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話をしょうかいしよう ・作文「一年を振り返って」 ・書写 守ろう！わたしたちの地球 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな昔話を読み、昔話について調べたことを書いたり、「語り」を工夫したりして、昔話に親しむことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かして丁寧に書く。 	書く 1 0 書く 3 毛 2
	合計時間数	1 8 0	